

巻 頭 言

九州地区大学体育連合会長 大 浦 隆 陽

平成24年1月、社団法人全国大学体育連合は、「公益社団法人全国大学体育連合」（以下公大体連と略）として公益法人への移行登記を行った。それに伴い、北海道・東北・関東・東海・北陸・関西・中四国・九州の8支部は、会計年度の変更や規約の改定、また支部総会の開催時期の検討等で大変な24年度であったと思う。特に九州地区大学体育連合（以下九体連と略）は、他支部と異なり九体連の会費も徴収している。従って、九体連は九体連用と支部用とそれぞれの予算・決算書を作成することになった。その作成にあたっては、公大体連と考え方や形式について度重なる話し合いがあった。細かいことは言及しないが、事務局（宮崎大学・九州保健福祉大学）の理事長をはじめ担当理事の先生方には大変なご苦勞をおかけした。

加えて、特筆すべき変更は、公益法人化した公大体連の総会では、加盟大学その大学を代表する者、つまり学長あるいは理事長が議決権を持つようになったことである。多くの先生方におかれては、急な通達であり、所属長への説明や委任状への捺印に必要な手続きとしての原義書の作成等、と苦慮されたことと思う。そして総会は成立し、無事閉会した。これは全国の先生方の迅速な対応がもたらしたものであるといえる。

このような大きな変化の中、今後の九体連の事業は九体連独自の活動であるのか、支部としての活動であるのか、明確にする必要があると思う。例えば、九体連独自で行っている研究助成金制度は、その助成金を公大体連からの支部交付金で賄うのは無理がある。また、九体連の機関紙「体育・スポーツ教育研究」の発行費も同様である。このような九体連及び九州支部の活動の区別は、前理事・前事務局によって大枠は示されている。考え方や方向性は、平成24年度の決算書及び25年度の予算案（平成24年度九体連の総会資料参照）の中に読み取れる。

しかしながら、活動の明確化以上に重要なことは、いずれの活動においても、会員の大学や先生方に有益で魅力的な活動を行うということである。決して今までがそうではなかったとっているわけではない。有益であっても、それに参加し触れていただかないことには、十分にその有益さが伝わらないと思うのである。一方で、先生方にとって何が有益かということを再吟味する必要があるとも思う。本連合の柱としての事業、研修会（春期、夏期の九州体育・スポーツ学会との合同企画）に、会員の先生方はもちろんのこと全国の多くの先生方の参加と、機関誌への積極的な投稿を促し、それが会員を増やすことに繋がる事業の展開が、我々に課された課題であると考えます。このことが、ひいては九体連を築き上げてこられた先達の先生方の「全国に先駆け、そして発信していく」という想いと功績に添えていくことになると思う。

目 次

巻 頭 言	大浦 隆陽 (九州地区大学体育連合会長)	1
追悼「山本教人先生を偲ぶ」	橋本 公雄 (熊本学園大学)	4
提言「全生活型体育のすすめ」	飯干 明 (鹿児島大学)	6
I. 教育研究論文		
1. 【特集】 選択の時代を迎える大学体育について考える		
1) 選択の時代と大学体育	根上 優 (宮崎大学)	9
2) 「選ぶ力」を育成する大学体育	飯干 明 (鹿児島大学)	18
3) 健康づくりから大学生生活の活性化へ — 体験, 後押しの授業から, 学ぶ授業へ —	齊藤 篤司 (九州大学)	32
2. 原著論文		
スポーツにおける「社会性」研究のための基礎的検討 — 「社会性」の概念構築に向けて —	内倉 康二 (別府溝部学園短期大学)	37
II. 今日の体育・スポーツ		
ロンドンパラリンピックが提起したものは?	内田 若希 (九州大学大学院人間環境学研究院)	43
III. 大学体育連合関連情報		
九州体育・スポーツ学会 — 九州地区大学体育連合同企画・プレセミナー報告 —	中山 正剛 (別府大学短期大学部) 田原 亮二 (名桜大学) 丸井 一誠 (精華女子短期大学) 齊藤 篤司 (九州大学)	45
IV. 体育・スポーツ関連情報		
1. 海外だより — カンボジア北部チョンカル村における運動会の試み —	中島 憲子 (中村学園大学教育学部)	47
2. 大学めぐり — 九州共立大学 —	得居 雅人 (九州共立大学)	50
V. 平成24年度体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議		
1. 「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」プログラム		53
2. 特別講演		
現代社会における健康幻想	講師 柄本三代子 (東京国際大学人間社会学部)	54
3. シンポジウム		
1) “選択”の時代を迎える大学体育について考える	根上 優 (宮崎大学)	60
2) “選択”の時代と大学体育	根上 優 (宮崎大学)	60
3) 「選ぶ力」を育成する大学体育	飯干 明 (鹿児島大学)	61
4) 健康づくりから大学生生活の活性化へ — 後押しの授業から, 自ら動くことを学ぶ授業へ —	齊藤 篤司 (九州大学)	61

4. 研究発表

1) 長崎活水女学校における教養体育の始まり	柿山 哲治 (中京大学) 小森 大輔 (活水女子大学)	62
2) 健康・スポーツ科学理論の授業における「心の健康教育」について — 物語の読み聞かせを活用した授業展開の研究 —	石黒之武久 (崇城大学)	66
3) 体育授業における新しいスポーツ種目の導入が学生にもたらす効果検証 — 本学体育の変遷に伴う学生の変化に着目して — ...	山本 浩二 (津山工業高等専門学校)	69
4) 始業時刻の違いが体育学部生の睡眠習慣及び眠気に与える影響	村手 一斗 (中京大学大学院) 山口 悠太 (中京大学大学院) 柿山 哲治 (中京大学スポーツ科学部)	71
5) 一般体育を実習の場とした学内教育実習の現状と評価法についての検討	永山 寛 (福岡大学) 瀬尾賢一郎 (福岡大学) 難波 秀行 (福岡大学) 深江 久嗣 (福岡大学) 藤井 雅人 (福岡大学) 田中 守 (福岡大学)	74
6) 教育実習が教員としての資質能力に与える影響について ～教職事前実習の受講者と非受講者の比較～	瀬尾賢一郎 (福岡大学) 永山 寛 (福岡大学) 難波 秀行 (福岡大学) 深江 久嗣 (福岡大学) 藤井 雅人 (福岡大学) 田中 守 (福岡大学) 築山 泰典 (福岡大学)	77
5. 平成24年度春期研修会 体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議に参加して	栗木 明裕 (福岡大学非常講師)	80
6. 春期研修会を終えて	根上 優 (宮崎大学)	81

VI. 事務局報告

平成24年度 事業報告	83
平成24年度 第1回理事会議事録	84
平成24年度 第2回理事会議事録	85
平成24年度 総会議事録	87
平成24年度 九州地区大学体育連合決算書	89
平成25年度 九州地区大学体育連合補正予算	90
平成25年度 事業計画 (案)	91
「体育・スポーツ教育研究」の論文投稿の御案内	92
九州地区大学体育連合研究助成規定	93
研究助成施行細則	93
九州地区大学体育連合規約	94
平成24年度 九州地区大学体育連合役員名簿	95
平成25年度 九州地区大学体育連合役員名簿	96
平成24年度 九州地区大学体育連合	97
平成25年度 九州地区大学体育連合	98
平成24年度 賛助会員一覧	99
平成25年度 賛助会員一覧	99
編集後記	